

くすりと健康のはなし

第27回

# 葉包紙やくほうし



一般社団法人岐阜県薬剤師会  
常務理事 細野直則

もあります。

これらは服用した薬剤やその代謝物の色であったり、薬剤がアルカリ化した尿と反応して着色したもので、これもまた心配はありません。

そのような薬が処方された場合には、医師や薬剤師から尿の色の変化について事前に説明があったり、薬局がお渡しする薬の薬剤情報提供書やお薬手帳などに、そのことについて記載があると思います。

しかし、赤褐色の尿が出て、筋肉が痛み、脱力感などがある場合には薬の副作用の可能性があります。そのような場合は放置しないで服用を中止し、医師や薬剤師に連絡して下さい。

また、尿と同じように、薬を飲むと便の色が、白色・黒色・赤色・緑色などと変わることもあります。

薬を服用して、色に限らず排泄物に何か異常を感じたら、どんなことでも結構です。かかりつけの薬局に相談して下さい。

日本の夏は高温多湿、そろそろ夏の疲れが出てくる季節ですね。リ○ビタミンや○ンケルなどの栄養ドリンクやビタミン剤を飲まれた方もいると思います。そんな時、トイレでオシッコの色を見て、びっくりしたことありませんか？

一般的に尿は透明な淡黄色、その量は普通1日に1〜2リットルですが、水分の摂取量や発汗で変わってきます。尿量が増えればその色は薄くなり、減れば色が濃くなります。また食事の影響で、肉類を多く摂ると尿は酸性に傾き色が濃く、野菜や果物を多く摂るとアルカリ性に傾き色は薄くなります。

栄養ドリンクやビタミン剤を飲んだ時に出る真っ黄色のオシッコの原因は、その中に含まれるビタミンB2の色で、特に心配はありません。

その他にも一部の便秘薬や咳止め、抗生剤、糖尿病薬などを飲んだ時には赤いオシッコが出る場合があります。また、パーキンソン病の薬の中には尿が黒くなるもの

## 薬で変わる?! オシッコの色